

魚食普及のための様々なPR展開



料理講習会(日南市教育委員会)



伊勢えびフェア

CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

お魚料理講習会
日南市教育委員会

全近かつ協・事務局長会等について

平成23年度宮崎県資源管理協議会
第1回定例会について

1級小型船舶講習会

平成23年8月属人水揚げ表

BUSINESS

業務情報

ライフジャケット着用は
あなたの人生を守ります!

いきいき宮崎のさかなブランド確立
推進協議会第一回委員会開催される!!

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

宮崎港一斉清掃参加

平成23年度第1回内部監査実施

伊勢えびフェア

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

昨年発生した北浦湾海域の
赤潮について-生物利用部-

8月の動き(県関係)

RELATED ORGANIZATION

関係機関

近海かつお漁業問題検討会開催

日南市観光キャラクター
にちなんちゃん様

平成23年度
宮崎県船員労働安全衛生協議会総会

漁業経営セーフティーネット構築事業
事務研修会について

漁船セーフティラリー-南九州2011

8月の動き

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。





郷土の恵みを知り、地域に根ざした教育を推進 ～お魚料理講習会（日南市教育委員会）～

去る8月11日、日南市生涯学習センター「まなびピア」において日南市漁協女性部を講師に迎え、同市教育委員会初任者研修の一環として、郷土の恵みに理解を深めることを目的にかつお料理の講習会を行った。

今回の初任者は県北・県央出身者が多く、地元日南市の特産品であるかつおを捌けるとあって張り切って臨んでいた。班に分かれての捌きの場面では、包丁の向きや持ち方に迷いながらも手順通りに「かつおのたたき・かつお飯・かつおカツ」をそれぞれ作りあげた。漬けにしたかつおを網で炙る「かつおのあぶり」も加え、10年研修の先生方等25名程度で試食を行った。試食に参加した方からは「かつおのあぶり」はお酒にも合う、どの料理もおいしいとの評価をいただいた。参加した初任者からも日南の味を学び味わうことが出来てよかった。これからの授業などで活かしたい、地元を知る良い機会をいただいたとお礼の言葉をいただいた。



全近かつ協・事務局長会等について

（社） 全国近海かつお・まぐろ漁業協会(会長 三鬼則行)は、平成23年8月25～26日、東京都千代田区神田 サニー貸会議室において、平成23年度事務局長会及び外国人船員の資質向上対策に関する意見交換会を開催した。

1.平成23年度事務局長会(8月25日)

- (1)開会
- (2)議題
 - ①WCPFC条約関連の対応
 - ・科学委員会の結果報告
 - メバチ、キハダ、カツオ、サメの2011年資源評価
 - ・北委員会への対応
 - ・クロマグロ、北太平洋ビンナガ、北緯20度以北の生鮮漁魚操業船オブザーバー
 - ・条約オブザーバーの乗船スケジュール
 - ②福島原発事故に伴うまぐろ類の放射能測定検査への対応
 - ③南太平洋島嶼国の動向

2.外国人漁船員の資質の向上対策に関する意見交換会(8月26日)

- (1)議題
 - ①外国人船員の資質向上対策について
 - ・現状分析
 - ・原因究明
 - ・対策
 - ・バリ島における現地まぐろ漁業の視察
 - ②日本人船員の定数削減に関するスケジュールについて
 - ・外国人船員の航海当直資格取得による条件整備
 - ・全日本会員組合に対する協定書の変更申し入れ
 - ・平成24年度一斉更新に伴う漁船マルシップの再審査
 - ・指定漁業の一斉更新

救命衣、着用していますか？

資材の購入は系統へ
漁協・漁連・全漁連

お問い合わせ先
宮崎県漁業協同組合連合会業務部 TEL 0985-28-6111

FISHING POLICY

平成 23 年度 宮崎県資源管理協議会第 1 回定例会について

8月11日(木)水産会館第1研修室において、平成23年度宮崎県資源管理協議会第1回定例会が行われた。
議案は次のとおりで、2つの諸規定が原案通り承認されるとともに、現在の事業の進捗状況について報告があった。



- (1) 諸規定の追加・改正について
 - ① 費目経理ガイドラインの制定
 - ② 公印取扱規定の改正
- (2) 所得補償対策の進捗状況について
 - ① 協議会事業の進捗状況
 - ② 資源管理計画及び漁場改善計画における適正養殖可能数量の策定状況
 - ③ 漁業収入安定対策事業の申請状況
- (3) 宮崎県における水産資源の利用及び管理に関する基本方針について

1 級 小 型 船 舶 講 習 会

去る8月16日(火)、島浦町において1級小型船舶講習会を開催した。地元漁業者8名が学科・実技の講習を受講した。

| | |
|------|-----------------------------------|
| 学科会場 | 島野浦島開発総合センター 8月16日(火)、8月17日(水) |
| 実技会場 | 地先水面 1班 8月22日(月)、2班 23日(火) |



平成23年8月属人水揚げ表

| 漁協名\区分 | 8月分 | | | 8月末累計 | | | 昨年同月累計 | | | 増減 | | 魚価対比 % |
|--------|-------|-----------|---------|--------|------------|---------|--------|------------|---------|-------|----------|--------|
| | 数量 t | 金額 千円 | 魚価 円/kg | 数量 t | 金額 千円 | 魚価 円/kg | 数量 t | 金額 千円 | 魚価 円/kg | 数量 t | 金額 千円 | |
| 北浦 | 3,604 | 185,256 | 51 | 22,850 | 1,409,519 | 62 | 19,298 | 1,351,580 | 70 | 3,552 | 57,939 | -11.9 |
| 島浦町 | 1,825 | 206,720 | 113 | 7,535 | 1,113,954 | 148 | 7,634 | 1,222,914 | 160 | -99 | -108,961 | -7.7 |
| 延岡 | 17 | 4,958 | 296 | 244 | 62,918 | 258 | 342 | 139,063 | 406 | -98 | -76,145 | -36.5 |
| 延岡市 | 142 | 140,368 | 990 | 774 | 402,455 | 520 | 766 | 437,452 | 571 | 9 | -34,996 | -9.0 |
| 庵川 | 200 | 29,790 | 149 | 1,209 | 422,092 | 349 | 1,082 | 446,068 | 412 | 127 | -23,976 | -15.3 |
| 門川 | 29 | 21,585 | 748 | 339 | 165,940 | 489 | 426 | 215,645 | 506 | -87 | -49,705 | -3.4 |
| 日向市 | 192 | 108,640 | 567 | 2,557 | 1,481,910 | 580 | 2,856 | 1,608,700 | 563 | -299 | -126,790 | 2.9 |
| 都農町 | 28 | 20,882 | 755 | 306 | 167,980 | 549 | 269 | 170,284 | 632 | 37 | -2,304 | -13.2 |
| 川南町 | 72 | 56,806 | 788 | 2,397 | 1,346,231 | 562 | 2,648 | 1,633,666 | 617 | -250 | -287,436 | -9.0 |
| 一ツ瀬 | 10 | 8,024 | 803 | 115 | 77,626 | 677 | 107 | 72,291 | 675 | 8 | 5,335 | 0.3 |
| 糟浜 | 8 | 3,276 | 406 | 80 | 27,301 | 342 | 94 | 31,033 | 331 | -14 | -3,732 | 3.4 |
| 宮崎 | 89 | 33,323 | 372 | 777 | 275,599 | 355 | 839 | 284,169 | 339 | -62 | -8,570 | 4.7 |
| 宮崎市 | 35 | 22,410 | 634 | 570 | 273,781 | 480 | 534 | 263,058 | 492 | 36 | 10,724 | -2.5 |
| 日南市 | 534 | 301,734 | 565 | 6,696 | 2,394,509 | 358 | 6,871 | 2,427,588 | 353 | -175 | -33,079 | 1.2 |
| 南郷 | 1,112 | 445,916 | 401 | 14,126 | 4,564,410 | 323 | 13,924 | 4,421,241 | 318 | 202 | 143,169 | 1.8 |
| 栄松 | 204 | 96,646 | 473 | 1,325 | 462,933 | 349 | 1,117 | 333,162 | 298 | 208 | 129,771 | 17.1 |
| 外浦 | 505 | 204,906 | 405 | 5,205 | 1,589,470 | 305 | 5,071 | 1,503,658 | 296 | 133 | 85,812 | 3.0 |
| 串間市東 | 38 | 18,598 | 487 | 1,163 | 358,308 | 308 | 976 | 380,027 | 389 | 187 | -21,719 | -20.9 |
| 串間市 | 404 | 232,749 | 576 | 4,322 | 2,484,502 | 575 | 3,917 | 2,268,151 | 579 | 404 | 216,350 | -0.7 |
| 合計 | 9,049 | 2,142,587 | 237 | 72,591 | 19,081,439 | 263 | 68,772 | 19,209,750 | 279 | 3,819 | -128,311 | -5.9 |

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。



S
P
O
L
I
T
I
C
S

P
O
L
I
T
I
C
S

F
I
S
H
I
N
G
P
O
L
I
T
I
C
S

守ろう! 進めよう!
ライフジャケット
常時着用
一人乗りは着用義務!

ライフジャケット着用は あなたの**人生**を 守ります!

助けたい、助かりたい...。
常時着用は漁業者の大切な命綱。

日常点検
をしましょう!

- 目で見て、さわって、漁から帰ったら毎日でも
- ベルト、バックル、ファスナー等の破損はないか?
 - すりきれ、穴あき、破れはないか?
 - 十分な浮力は確保されていますか?
 - 作動索は出ていますか?

作動索は必ず救命胴衣の外に出しておいてください。



定期点検
が必要です!

- 膨張式ライフジャケットの部品(スプールやマガジン、ポンペなど)は定期的に交換していますか?
- 取扱説明書等にある漏洩試験を定期的に行っていますか?

きちんとメンテナンスしないと、いざという時に役に立たないかも...

安全を安心にするには、
点検が必要です。



漁業者の仲間同士でライフジャケットの着用推進・点検をしよう。

複雑な点検作業は部会などで集まるときに、技術者を呼んでみんなでいきましょう。

JF宮崎漁連直営店

ぎょれん丸

魚乃里

**宮崎県水産物
ブランド品が
食べたい!**

【営業時間】
【直売所】 月～木 AM10:00～PM5:30
 金～日 AM10:00～PM8:00

【レストラン】
昼の部 月～木 AM11:00～PM2:30 (昼のみ)
夜の部 金～日 AM11:00～PM2:30
 PM 5:00～PM8:30

【問い合わせ】
〒880-0858 宮崎県宮崎市港2丁目6番地
TEL.0985-28-6114

SWEET'S

いきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会 第一回委員会開催される！！

S
S
E
Z
I
S
D
B

去る8月30日火曜日、県水産会館にて、いきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会第一回委員会が15名の委員のうち13名が出席して開催されました。

議題は、二つありまして、一つは平成22年度事業実績並びに収支決算について、二つ目は平成23年度事業計画(案)並びに収支予算(案)についてでありました。

議案は、二件とも全会一致で可決承認にされました。

以下、主なものについて、ご紹介します。

●平成22年度事業実績並びに収支決算について

○重点推進事項

1 消費者に信頼される安全安心な特長ある水産ブランド品づくりについては、

- ①「みやざき金ふぐ」が新たな水産物ブランド認証第9号となりました。
- ②新たな水産物ブランドの検討として、県北部会がリッテルホヤについて、引き続き養殖生産体制を確立するための増産に関する取り組みを実施しました。
- ③水産物ブランド品等の流通状況調査として、福岡市内のデパート売り場等を調査しました。水産加工品の「宮崎チリメン」は店頭にありましたが、鮮魚は玄海灘や五島産などの表示で宮崎産の鮮魚は見かけることができませんでした。また、関係者に「みやざき金ふぐ」の話をしたところ、「やっきり」、「一夜干し」などに強い興味を示され、今後の販路として期待されると思われました。
- ④既認定ブランド品の生産・販売等の点検として、関係漁協等に現状を把握しました。販売状況は前年に比べ、宮崎カンパチ、ひむか本サバ、宮崎焼酎もろみ漬け(シイラ)、宮崎一口あわび”浦の恵”の4点は販売額が増加しましたが、北浦灘アジ、門川金鱧、宮崎かつおうみっこ節、五ヶ瀬ヤマメは販売額の減となっていました。

2 宮崎のさかなの積極的な情報発信については、

- ①「地産地消」を前面に打ち出した県民への情報発信として、県漁連、漁協直営店が連携して地域独自の「フェア」を実施して、情報発信に努めました。
- ②県内外の消費者、及び鮮魚店・量販店・料理店等を対象としたPRの展開として、県内外で実施されるイベントやフェアに積極的に参加し、それぞれ旬の魚のPRを行いました。

○収支決算について

1 収入の部では、

- ①県補助金が9,076,000円、②市町補助金及び県漁連・各漁協支出金等その他の収入が4,709,155円、併せて収入決算額は13,785,155円となりました。予算額に比べ463,155円の増となっています。

2 支出の部では、

- ①みやざきの水産物ブランド向上事業が6,299,377円、②みやざきの魚調査検討事業が664,917円、③みやざきの魚販売確立情報発信事業が6,820,861円、併せて支出決算額は13,785,155円となりました。予算額に比べ463,155円の増となっています。

●平成23年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

第1 基本方針

近年の漁業経営を取り巻く環境は、魚価の低迷や漁獲量の低下、燃油等操業コストの上昇など、厳しい状況にあります。このため、資源管理の推進や経営コストの削減とともに、魚価向上や販路拡大への取組が重要となっています。これまで、当協議会等ではブランド認証制度等を活用した優れた製品のPRやフェア・商談会への参加等の取組を行い、単価向上や新たな販路の確保等の一定の成果が得られてきているが、「みやざきブランド」を確立するためには、これまでの取組をベースに、より効果的な取組を行っていく必要があります。このため、平成23年度は、ブランド認証制度等を活用したPRやフェア等の開催について、流通・販売の専門家の活用、農商工業等との連携促進、対象エリアの重点化など、より効果的な取り組みを行うことにより県水産物の認知度・イメージの一層の向上と販路拡大に努め「みやざきブランド」の確立と定着を図るものとします。

第2 重点推進事項

1 「みやざきブランド」の育成・定着の推進として、

①重点エリアにおける情報発信・提供については、
ア ブランド推進員の配置及び情報収集・提供等の取組

水産物の流通や商品開発・販売に関する経験、知識、人脈等を有するブランド推進員を配置するとともに重点エリアでの販売情報収集と商品情報の発信等の取組を推進します。







イ 全県的な水産物の情報発信及びPR資材の作成

ブランド認証品をはじめとする「みやざきの魚」など、全県的な水産物の情報発信及び、ポスター等PR資材の作成を進めます。




ウ 各部会による地域水産物PR

各部会が主体となって地域水産物フェア、イベントの企画等によるPRに取り組めます。

| 部会名 | 実施時期 | 主な取り組み計画 | 備考 |
|-------|--------------------|---|---|
| 県北部会 | 平成23年7月から平成24年3月まで | ブランド認証品(北浦灘アジ、門川金ハモ、ひむか本サバ、宮崎一口あわび”浦の恵”、宮崎焼酎もろみ漬(シイラ))をはじめとする地元水産物を地域イベントやフェア等に参加してPRに努めます。 |  |
| 県中部会 | 同上 | ブランド認証品(みやざき金ふぐ)をはじめ、いせエビ、シイラ、宮崎チリメンなどの地元水産物を地域イベントやフェア等に参加してPRに努めます。 |  |
| 県南部会 | 同上 | かつお、まぐろ、かんぱち、ぶりなど、県内有数の水揚げを誇る水産物をはじめ、宮崎かつおみっこ節などの水産加工品を地域イベントやフェア等に積極的に参加してPRに努めます。 |  |
| 内水面部会 | 同上 | 国内第三位の生産量を誇る本県ウナギを、県内児童養護施設へクリスマスプレゼントとして、うなぎかば焼きの贈呈をはじめ、県政番組の視聴者プレゼントとして提供するなどにより、PRに努めます。 |  |

S S E Z I S D B

| 部会名 | 実施時期 | 主な取り組み計画 | 備考 |
|------|--------------------|---|---|
| 流通部会 | 平成23年7月から平成24年3月まで | 鮮魚店や量販店などによる初かつおフェアの開催をはじめ、学校や商店街等と共同してイベントを開催し、「みやぎきの魚」のPRに積極的に努めます。 |  |

②販路開拓・定着促進については、

ア 本県水産物の販路開拓の促進

福岡市などの北部九州や首都圏等において、フェアや商談会等を行い、本県水産物の販路開拓を促進します。

イ ブランド認証品の販路定着促進

ブランド認証品を有する関係部会において、販路の拡大・定着化を図るための商談会等に取り組みます。なお、ブランド認証品の販売計画では前年を上回る生産量・額となっています。



2 ブランド推進協議会の運営事業として、

①協議会等の運営については、

協議会総会や部会の開催及び連絡調整事務を行います。



②ブランド品の育成と定着の指導については、

新たなブランド認証申請に係る調査及び指導並びに認証手続き事務をはじめ、既認証のブランド品9品目に対する品質維持・向上等への取組指導、販売状況の把握等のほか、新ブランド開発への取組を進めるグループへの活動支援に取り組みます。



○収支予算案について

1 収入の部では、

①県補助金が6,953,000円、厳しい財政事情により前年度に比べ2,123,000円の減となっており、また、一部補助率が1/2から1/3となっています。

②市町及び県漁連、各漁協などからのその他の収入は4,641,000円となっており、前年度に比べ395,000円の増となっています。

収入合計としては、11,594,000円となり、前年度に比べ1,728,000円の減となりました。

2 支出の部では、

①みやぎきブランド育成定着推進事業が5,914,000円、②ブランド推進協議会運営事業が5,680,000円、併せて支出合計は11,594,000円となり、前年度に比べ1,728,000円の減となりました。

事業費減に伴い、これまで以上に重点的に効率的な予算執行に努めまして、事業目的に沿った成果を上げていきたいと考えています。

♪海とっしょに 浜とっしょに♪



元気に暮らそう JF共済

チョコ・くらしカサヤ リコー
ゆんきん タニシロ なぎさ年金

漁業協同組合・JF共済推進本部

<http://www.kyosuiren.or.jp>

S
S
E
Z
I
S
D
B

宮崎港一斉清掃参加

宮 崎県水産団体では、去る8月22日(月)ベイコムハート主催による、宮崎港の一斉清掃に参加した。水産団体参加者は約50名、宮崎製氷工場周辺を中心に清掃を行った。当日は、早朝7時からの作業の中、多くのゴミを収集することができた。

平成23年度第1回内部監査実施

漁連では、去る8月24日～8月31日(6日間)本所・各出先において平成23年度第1回内部監査を実施した。

監査の範囲及び監査方法

(1)組織・事業及び経営の合目適正・合法性について、試査を基礎とした。

監査手続

(1)実査、帳票、証憑書類による計数の突合等

監査実施期間及び所要日数

8月24～25日 県北(2日間)

8月30～31日 県南(2日間)

8月26～29日 県央(2日間)



伊勢えびフェア

魚 乃里「ぎょれん丸」では、9月より県内より取り寄せた伊勢えびを使った「伊勢えびフェア」を開催しています。

恒例の伊勢えび定食(写真)をはじめ、夜の営業時には伊勢えびの単品メニューもご提供していきたいと思ひます。秋の味覚を堪能してください。

魚乃里「ぎょれん丸」では、通常メニューとして900円から煮付け定食等をご用意していますのでお気軽にお立ち寄り下さい。



人と自然との調和



粒状粉石けん
コンパクトタイプ

洗濯用液体石けん

わかしお を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ

昨年発生した北浦湾海域の赤潮について — 生物利用部 —

平成22年6月下旬から7月上旬にかけて北浦湾周辺海域においてヘテロシグマ・アカシオというプランクトンによる赤潮が発生し(写真1~4)、カンパチ等のへい死により多大な被害が出てしまいました。この赤潮原因プランクトンは、魚類のへい死を引き起こす有害種であり、海水1ml当たり10,000細胞以上の密度に達すると養魚がへい死する危険性が高くなり警戒する必要があります。また本種は、分裂を繰り返して増殖しますが、環境条件が整わなくなるとシスト(休眠細胞)となって海底の泥に付着し、翌年の発芽を待ちます。つまり、一度赤潮が発生すると大量のシストが海底に堆積し、台風や潮流等による拡散がなければ、翌年に大量の栄養細胞が発芽するという可能性があります。北浦湾海域では、過去に発生した赤潮のうち本種によるものが一番多く、平成5年まではほぼ毎年発生していました(図1)。ただし、被害は無いことも多く、あっても小規模でシマアジの稚魚が弱いことが知られており、主要魚種であるブリやカンパチのへい死は過去にはありませんでした。

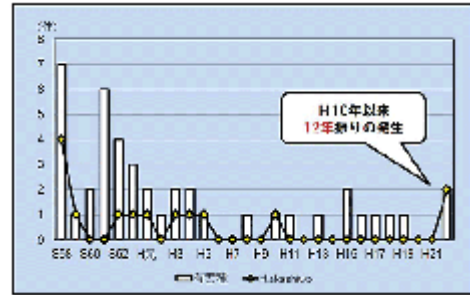


図1.北浦湾周辺海域におけるH.akashiwoの赤潮発生状況(S58~H22)

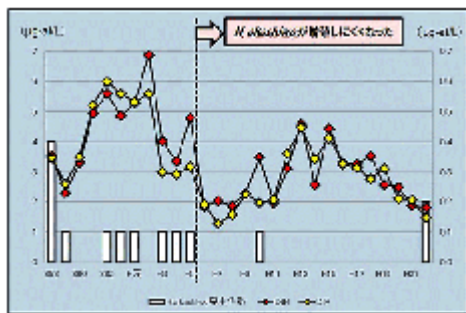


図2.北浦湾周辺海域におけるH.akashiwoの赤潮発生件数とDIN、DIPの推移

平成6年以降は赤潮を形成しなくなりましたが、毎年6月頃から出現し1ml当たり数十~数百細胞は確認されます。それ以上は、増殖しなくなったということです。この要因としては、降雨や日照等の気象条件も考えられますが、養殖のエサが生餌から配合飼料によるモイストペレットに切り替わったことで漁場環境が改善され、栄養塩濃度(DIN:無機態窒素、DIP:無機態リン)が低下したことが大きいと考えられています(図2)。北浦湾の漁場環境の改善傾向は、他の水質や底質のデータからも明らかとなっています。

ところで、昨年発生したヘテロシグマによる赤潮は、平成10年6月に小規模な赤潮(最高18,000細胞/ml)の形成が確認されておりますが、それから数えても12年ぶりの発生となり、しかも、本種により被害が出たのは平成5年(シマアジ稚魚300尾、被害額15万円)以来17年ぶりでした。

6月22日発生時は、湾奥部の港内から着色が確認され、すでに警戒密度に達していたことから餌止め等の対策を講じました(図3)。しかしながら、着色域は徐々に養殖筏の方へ南下拡大し、4日後の6月26日に残念ながらカンパチとヒラマサの大量へい死を招き、被害額2,956万円と過去最大の赤潮被害となってしまいました(図4)。本種による赤潮で、これほどの大量へい死は初めてでした。裏を返せば、ヘテロシグマを軽く見ていたのかもしれませんが。その後、更に着色域は南下し浦城湾や島野浦方面でも着色域が確認され、7月7日には湾奥部の港内で最高186,500細胞/mlのピークを迎え(図5)、7月12日に終息を確認しました。

それでは、なぜ突然高濃度な赤潮を形成したのか？

赤潮発生要因は、水温、栄養塩、光、塩分濃度、種間競合等が挙げられます。海底水温の上昇によりシストの発芽、降雨により陸水からの栄養塩類の供給や塩分濃度の低下、そしてその後の日照、また他の植物プランクトンの栄養塩類の奪い合いというように、様々な条件が複雑に絡んでいます。ヘテロシグマの特徴としては、低塩分を好み、弱い光でも増殖し、増殖スピードが速いという点が挙げられます。

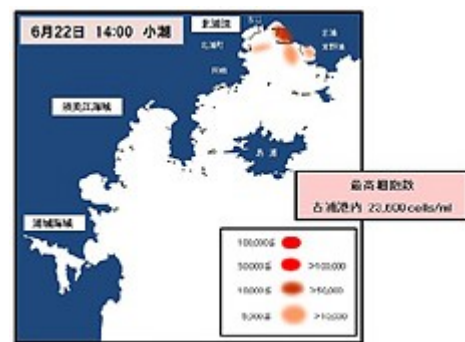


図3.H.akashiwoの赤潮発生件数(6月22日)

FISHERIES EXPERIMENT

昨年の、赤潮定期調査における栄養塩濃度は近年同様低濃度で推移しており、底質環境も含めて北浦湾の漁場環境の悪化を示すデータはありません。逆に、赤潮発生前の6月7日の定期調査においては、栄養塩濃度が極端に低い値を示しており、透明度も7~10mと高く植物プランクトンが少ない傾向にありヘテロシグマも確認されませんでした。また、その調査日から赤潮発生が確認された6月22日の間に15日間で10日間が雨で合計240mmの降雨が観測されていました。更に、赤潮発生期間においても、雨や曇りがちの日が多く日照時間の少ない日が続き栄養塩濃度も低濃度で上下していました(図5)。

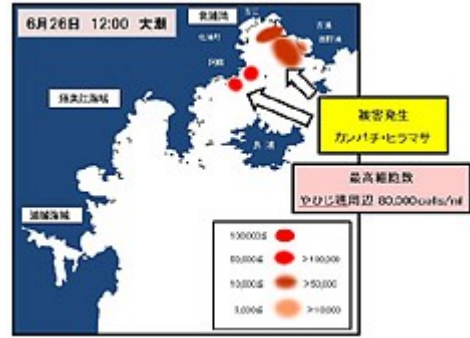


図4.H.akashiwoの赤潮発生状況(6月26日)

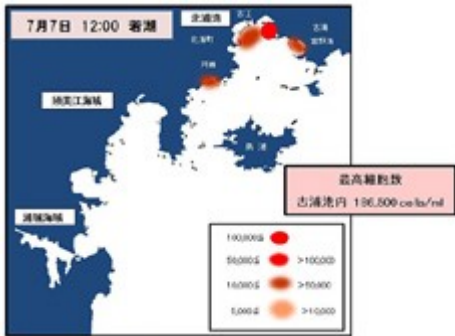


図5.H.akashiwoの赤潮発生状況(7月7日)

つまり、シストが水温条件により発芽した時期に、仮に他の植物プランクトンの競争者が少なければ、降雨による栄養塩の供給があり強い光を好む他の植物プランクトンに勝って栄養塩を吸収して増殖し、度重なる雨がもたらす程々の栄養塩を弱い光条件のなかで上手に利用し増殖していたことが推察されます。どうやら、種間競争と赤潮発生前と発生期間中の晴れ間が少なかったことがポイントのようです。

しかしながら、例年、梅雨時期に本種の低濃度の出現は確認されるのに十数年間増殖しなかったことは、漁場環境の改善による栄養塩濃度が低下したからではなかったのか？他の珪藻類等のプランクトンが程よく存在し梅雨の間の晴れ間が程よくあったからなのか？この

要因については、過去の水質及び気象データを洗い出し、引き続き検証していきたいと思えます。

それから、大量のシストの発芽を心配した今年度は、昨年より早い5月16日に湾奥部で最高41細胞/ml(底層水温20.2℃)が初観測されました。その後5月20日に「潮色が悪い」との情報を受け5月21日に臨時調査を行いました。湾奥部の港内で最高165細胞/mlの出現にとどまりました。その後の増殖を心配しておりましたが、幸いにも昨年赤潮が発生した6月は、珪藻類が優先しヘテロシグマは0細胞/ml、7月が最高4細胞/ml、8月が最高21細胞/ml、9月が0細胞/mlで消滅した(シスト化)と考えています。

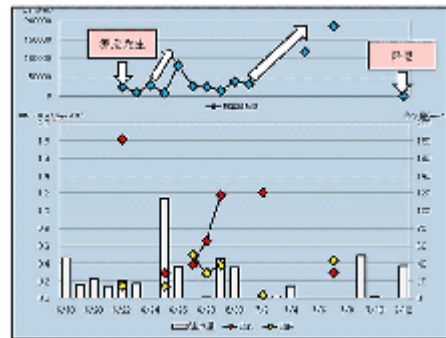


図6.H.akashiwo発生時の細胞密度、降水量とDIN、DIPの推移

今年の梅雨は、降水量が多かったのが特徴でしたが、昨年の赤潮形成時期に本種の出現が無かったという皮肉な結果となりました。ヘテロシグマの増殖要因の謎は深まるばかりです。なお、今年度の出現状況から、昨年大量に堆積したはずのシストは台風や潮流の影響で拡散または底泥中に埋没している可能性が示唆されました。これまで同様に、湾奥部の浅場や港内のみが翌年の種場となるようです。

赤潮の発生機構の解明については、これからも鋭意取り組んでいくこととしますが、まず出来ることとして定期的にモニタリング調査を行い有害プランクトンの早期発見と現場からの情報収集に努めることを継続してまいります。今後とも、海水の着色や異常を確認された場合は、水産試験場(0985-65-1511)又は地元振興局(東臼杵農林振興局:0982-32-6135・南那珂農林振興局:0987-23-4312)まで御連絡ください。

一方、赤潮発生時の対策としては、一般的には餌止めと避難(生け簀の移動や沈下)がありますが、ヘテロシグマは昼間の表層凝縮性が高いことから、早期に餌止めを行い生け簀にむやみに近寄らないことが現実的な対策になると考えられます。船が生け簀に近づくと餌がもらえらると思っ魚は浮いてきますので、赤潮が分散し警戒密度を下回るまで、いかに養魚を生け簀の底の方でおとなしくさせておくかが重要となります。水温が上昇する養魚の成長期に餌止めをすることは、目標出荷サイズへ大きな影響を与えらると思っますが、餌止めをすらしないとは、へい死率に数倍も差があることは実験的にも確認されています。

今後は、カレニア・ミキモトイとともに、ヘテロシグマ・アカシオについても最大限の注意が必要です。

8月の動き (県関係)

| | |
|-----|--|
| 11日 | 宮崎県資源管理協議会(宮崎市) |
| 22日 | 第285回宮崎県内水面漁場管理委員会(宮崎市) |
| 23日 | 宮崎海区漁業調整委員会委員辞令交付式(宮崎市) 第350回宮崎海区漁業調整委員会(宮崎市) |
| 30日 | いきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会委員会(宮崎市) |

近海かつお漁業問題検討会開催

(社) 全国近海かつお・まぐろ漁業協会(会長 三鬼則行)は8月9日、東京都 エッサム神田ホールにおいて、近海まぐろ漁業問題検討会を開催し、本県からは船主組合長3名と事務局が出席した。

- (1) 気仙沼での水揚げについて
- (2) 活餌について
- (3) 放射線量測定について
- (4) その他

日南市観光キャラクターにちなんぢゃ様

さ くらのちよんまげに、ジャカランダの花柄のアロハシャツという出で立ちのお殿様。
面白そうなイベントに「なんぢゃなんぢゃ?」とやって来る。
おいしいもの大好きでついつい食べ過ぎてしまい、ちよっぴりメタボ。
楽しい遊びやお祭りばかり過ごしているので、難しいことは小脇に抱えている老中のカツオさんが考えている。



日南市観光キャラクターにちなんぢゃ様

平成23年度宮崎県船員労働安全衛生協議会総会

去 る8月19日(金)、宮崎県船員労働安全衛生協議会(会長丸山英満)の平成23年度総会が水産会館5階大研修室において開催された。

- (1) 平成22年度事業報告及び決算報告について
 - (2) 平成23年度事業計画(案)及び予算(案)について
 - (3) その他
- 全議案とも異議無く承認された。

協議内容は右記の通り

漁業経営セーフティーネット構築事業事務研修会について

8 月30日(火)福岡県において、漁業経営セーフティーネット構築事業事務研修会が行われた。
協議事業は次のとおりで、平成23年度の燃油・飼料を合わせた加入件数は前年度と比べ約2倍となったとのことであった。
また、事務手続き上の留意事項について説明があった。

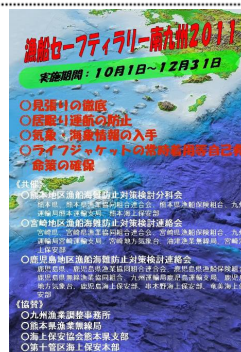
- (1) 平成23年度契約実績について
- (2) 最近の原油価格、廃業飼料価格の動向について
- (3) 積立契約の管理・保全に係る留意点について
- (4) 補てん金の交付に係る留意点について

漁船セーフティラリー南九州2011

実施機関: 10月1日(土)~12月31日(土)

漁 船の無事故を目指し、昨年に引き続き宮崎県内各漁業協同組合単位による「漁船セーフティラリー」を実施し、漁船乗組員相互による安全意識を啓発していきます。
安全な運航と海難防止にご協力をお願いします。

- 見張りの徹底
- 居眠り運航の防止
- 気象・海象情報の入手
- ライフジャケットの常時着用等事故救命策の確保



8月の動き

| | | | |
|-----|------------------------|---------|-----------------|
| 9日 | 近海かつお漁業問題検討会 | 22日 | 宮崎港一斉清掃参加 |
| 11日 | 平成23年度宮崎県資源管理協議会第1回定例会 | 24日~31日 | 平成23年度第1回内部監査実施 |
| | お魚料理講習会(日南市教育委員会) | 25日~26日 | 全近かつ協・事務局長会議 |
| 19日 | 平成23年度宮崎県船員労働安全衛生協議会総会 | | |

RELATED ORGANIZATION